

引っ越しのごあいさつ

沖縄県衛生環境研究所長 上里 林



所長 上里 林

はいさい！ぐすーよーちゅーうがなびら（沖縄の方言で「こんにちは、皆さん ご機嫌いかがですか」という意味です）。さて、この度、沖縄県衛生環境研究所は、うるま市の新庁舎へ移転いたしました。

旧庁舎は、南城市大里の小高い丘の中腹で、周囲を緑に囲まれた静かな環境にありました。しかし、昭和55年の建設から35年以上経過し、施設の老朽化が著しく、研究所としての機能の維持が難しくなってきました。そこで、総工費約33億5千万円をかけ、うるま市兼箇段に、敷地面積約14,000平方メートル、地上2階建て、延べ床面積約5,900平方メートルの新施設の建設を進めて参りました。

新たな研究所は、①研究所としての機能が十二分に発揮できるよう「明確なゾーニングにより諸室が配置された研究所」とする。②一般公開区域、研究実験区域、管理区域等、「区域の用途に応じたセキュリティーレベルが設定でき、管理の容易な研究所」とする。③研究所として将来長期にわたって機能を果たすために、模様替えや設備の交換が容易に行えるような「フレキシビリティの高い、大きな建築空間をもつ研究所」とする。④広く県民に衛生環境を広報するために「開かれた親しみのある研究所」とする。⑤建物の長寿命化を図るとともに、省エネや自然環境保全などについて、細やかな「建築的配慮がされた研究所」とすることを基本コンセプトとしております。

平成27年4月、建築工事に着工し、およそ2年間の工事期間を経て、研究内容に応じた厳重なセキュリティーを確保するとともに、光あふれる近代的な研究施設が完成いたしました。

工事に並行して、検査機器設備等の設置・移設等の移転作業を行い、平成29年3月末に作業を完了、4月から調査・研究・研修等の全ての業務を稼



写真 新庁舎正門前



図 研究所の位置

働しております。

当研究所は、衛生行政、環境行政における沖縄県の科学的・技術的中核機関として、その使命を担って参りましたが、新施設においては、さらに高度な試験検査・調査研究・研修教育・公衆衛生情報の収集・解析・提供機能の維持向上に努めるとともに、様々な健康危機管理事案や環境問題に迅速かつ的確に対応し、各種行政施策の推進に職員一同誇りと情熱を持って取り組んで参ります。

各位の一層のご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

にふえーでーびる（ありがとうございます）。